

「^{であ}出会い」

学校長 薄田 秀明

子どもたちが春に植えた花の種や野菜の苗は日に日に成長し、花が咲いたり実ができたりと期待が膨らむ季節となりました。

まだまだ梅雨空の日々は続きそうですが、子どもたちは、話し合っ^こて掲げたクラス目標を意識しながら学校生活を送っています。17日の土曜参観には多くの方に参観していただき、引き取り訓練も無事に終えることができました。ありがとうございました。

さて、アメリカメジャーリーグ、エンゼルスの大谷翔平選手が、連日、テレビのニュースや新聞で大きく報道されています。バッターとピッチャーとの二刀流の大活躍に勇気と元気を大いにもらっています。

「^{せんいゆうかん}先人観は、^{かのう}可能を^{ふかのう}不可能にする」

この言葉は、大谷選手がとても大切にしている言葉で、高校時代の野球部の指導者、佐々木監督から贈られた言葉だそうです。「160キロのスピードボールを投げるなんて無理」「バッターとピッチャーの二刀流は今まで成功したことがない」という先人観をもたず、可能性を信じて目標に向かって努力を続けてきたことで、自らの才能を開花させてきました。

また、目標設定にあたって、佐々木監督から提示された「目標達成シート」によって、達成したい目標を決め、そして、それに向かうために必要な具体的な行動目標を一つ一つ設定し、達成してきました。大谷選手の活躍は、本人の才能、努力はもちろんのことですが、佐々木監督との出会いがなければ、成し得なかったかもしれません。

さらに、日本ハムファイターズ時代の栗山監督との出会いも大きかったのではないのでしょうか。プロ野球の入団が栗山監督の日本ハムでなければ、バッターかピッチャーのどちらかの選択を迫られたかもしれません。

「^{だれ}誰も^{ある}歩いたことのない^{みち}道を^{あゆ}歩んでほしい」

今までの先人観にとらわれることなく、大谷選手の類い稀な可能性を信じる栗山監督との出会いによって、バッターとピッチャーの二刀流を日本のプロ野球で実践できたことが、本場アメリカの野球ファンをも熱狂させる要因であったと考えます。

よき指導者との出会いの重要性を感じます。学校においても様々な出会いがあります。子どもを育む、人を育てる我々の職責を改めて自覚し、子どもたちの可能性を信じて、日々の教育活動に向き合っていきたいと思ひます。

7月も保護者の皆様、地域の皆様のご理解とご支援、よろしくお願ひいたします。